

「夏休みワクワク業務公開イベント」を開催

～親子で学ぼう 目に見えない電波～



齊藤北陸総合通信局長の挨拶



電波の性質を理解する電波実験



マンパックの説明を受ける参加者

北陸総合通信局（局長：齊藤 一雅）では、平成23年8月10日（水）に金沢広坂合同庁舎1階大会議室において、局独自としては初めてのイベント「夏休みワクワク業務公開イベント」を開催しました。

電波や電気通信は、放送、通信、医療、交通、科学研究など多方面で利用されています。このイベントは、電波・電気通信の利用やルールなどについて、クイズや実験等を通して親子で楽しく理解していただくため、小・中学生を対象に企画したものです。

同イベントは午前部の部と午後部の部の2回開催され、参加者は北陸総合通信局の仕事内容、携帯電話・インターネットの安全・安心な使い方、電波の性質や利用状況、携帯電話やテレビ受信機の歴史などについて説明を受けました。

「おもしろ電波教室」では、電波についてのクイズが行われたほか、電波適正利用推進員により、電波の性質を理解する実験が行われました。電波は目に見えないため、電波が発射されているとランプがつく仕組みの装置を用いて、アンテナを垂直・水平にした場合やアンテナに短めの棒や長めの棒を追加した場合を示して、八木アンテナの仕組みや電波はアンテナからどのように発射されるのかなど、様々な実験を通して、電波の性質を学んでいました。

また、マンパック（電波方向探知機）を使用し、会場内で電波の発射源を探す体験を楽しみました。

職員からの説明を受けた後、実際にマンパックを持ち、マンパックが示す方向を基に、電波の発射源を推測しながら会場内をゆっくり進んでいく参加者。最後には発射源を見事、見つけ出し、笑顔もこぼれていました。

その後、電波監視システム「DEURAS」の見学も行い、不法電波を監視する方法や、見つけ出す方法なども学習しました。

問い合わせ先：総務部総務課 076-233-4410